

事業進捗等について(河川事業)

事業名 (箇所名)	実施箇所	事業期間等 上段:前回評価時 下段:現時点	総事業費(億円) 上段:前回評価時 下段:現時点	事業を巡る社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト削減や代替案等の可能性
石狩川直轄河川改修 事業(千歳川遊水地)	北海道江別市、千歳市、恵庭市、北広島市、南幌町、長沼町	平成20年度 ～令和元年度 平成20年度 ～令和元年度	約1,150 約1,150	変化なし	平成30年度末時点で事業進捗率約94%	舞鶴遊水地は平成26年度に完成し、他の5遊水地は令和元年度の完成予定	【コスト削減】 自治体との連携、道路部門との連携、伐開樹木・刈草の有効活用、土砂の有効利用によりコスト削減を図ってきており、引き続きコスト削減に努めていく。 【代替案】 河川整備計画策定時において社会的影響等の観点を踏まえて計画しており、河川整備計画策定以降、流域における社会情勢等が大きく変化していないことから、現計画が最適であることを確認している。
石狩川総合水系環境 整備事業	北海道札幌市、旭川市、砂川市、恵庭市、南幌町、美瑛町等	昭和42年度 ～令和10年度 昭和42年度 ～令和10年度	約296 約296	変化なし	【石狩川下流地区自然再生】 ・平成30年度末時点で事業進捗率:約90%(総事業費約21億円に対し、約19億円実施済) 【砂川地区かわまちづくり】 ・引き続き、管理用通路等の進捗を図り、令和10年度完成に向けて事業を進める。 【砂川地区かわまちづくり】 ・引き続き、管理用通路等の進捗を進める。 【恵庭地区かわまちづくり】 ・管理用通路等の進捗を図り、令和10年度完成に向けて事業を進める。 ・平成30年度事業着手し、整備のため調査設計を行っている。	【石狩川下流地区自然再生】 ・引き続き、高水敷整正等の進捗を図り、令和6年度完成に向けて事業を進める。 【砂川地区かわまちづくり】 ・引き続き、管理用通路等の進捗を図り、令和10年度完成に向けて事業を進める。 【恵庭地区かわまちづくり】 ・管理用通路等の進捗を図り、令和10年度完成に向けて事業を進める。 ・令和2年度から現地の整備に着手する予定である。	【コスト削減】 ・石狩川上流地区自然再生、砂川地区かわまちづくり、恵庭区かわまちづくりは、これまで、植生移植についてNPO等と連携等、現地発生土の有効利用によりコスト削減を図ってきており、引き続きコスト削減に努めていく。 【代替案】 ・計画立案段階から、有識者や関係機関等からなる協議会等において議論を重ね、現計画が最適であることを確認している。
天塩川総合水系環境 整備事業	北海道名寄市、士別市、和寒町、剣淵町、下川町、美深町、音威子府村、中川町、天塩町、稚内市、豊富町、幌延町	平成16年度 ～令和11年度 平成16年度 ～令和11年度	約48 約48	変化なし	【天塩川中上流地区自然再生】 ・平成30年度事業着手し、整備のため調査設計を行っている。 【名寄川地区かわまちづくり】 ・平成30年度末時点で事業進捗率:約9%(総事業費約6.9億円に対し、約0.6億円実施済) 【天塩川下流地区自然再生】 ・平成30年度末時点で事業進捗率:約76%(総事業費約21億円に対し、約16億円実施済) 【天塩地区かわまちづくり】 ・平成30年度末時点で事業進捗率:約19%(総事業費約8.8億円に対し、約1.7億円実施済)	【天塩川中上流地区自然再生】 ・魚道整備、河道整正等の進捗を図り、令和10年度完成に向けて事業を進める。 ・令和2年度から現地の整備に着手する予定である。 【名寄川地区かわまちづくり】 ・引き続き、管理用通路等の進捗を図り、令和4年度完成に向けて事業を進める。 【天塩川下流地区自然再生】 ・引き続き、河道掘削等の進捗を図り、令和11年度完成に向けて事業を進める。 【天塩地区かわまちづくり】 ・引き続き、高水敷整正等の進捗を進める。	【コスト削減】 ・天塩川中上流地区自然再生、名寄川かわまちづくり、天塩川下流地区自然再生及び天塩地区かわまちづくりは、これまで、現地発生土の有効利用、他事業により発生した土砂の管理用道路における盛土流用、モニタリングにおけるNPO等と連携等によりコスト削減を図ってきており、引き続きコスト削減に努めていく。 【代替案】 ・計画立案段階から、有識者や関係機関等からなる協議会等において議論を重ね、現計画が最適であることを確認している。